

取扱説明書

IRINO

大型ばねらくこん

RCM10E-3
RCM10EH-5
RCM10EH-8



正しく安全に効率の良い作業をしていただくために、ぜひ心掛けていただきたいことを述べていますので、ご使用前に必ずお読みください。誤った使い方をすると、事故を引き起こすおそれがあります。

お読みになった後は必ず製品に近接して保存してください。

大型ばねらくこんを お買い上げいただき、ありがとうございます。

はじめに

- この取扱説明書は**大型ばねらくこん**の取扱方法と使用上の注意事項について記載してあります。ご使用前には必ず、この取扱説明書を熟知するまでお読みのうえ、正しくお取扱いただき、最良の状態でご使用ください。
- お読みになったあとも必ず製品に近接して保存してください。
- 製品を貸与または譲渡される場合は、この取扱説明書を製品に添付してお渡してください。
- この取扱説明書を紛失または損傷された場合は、速やかに当社または当社の特約店・販売店にご注文ください。
- なお、品質・性能向上あるいは安全上、使用部品の変更を行うことがあります。その際には、本書の内容および写真・イラストなどの一部が、本製品と一致しない場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- ご不明なことやお気付のことがございましたら、お買い上げまたはお近くの特約店・販売店にご相談ください。
- ▲印付きの下記マークは安全上、特に重要な項目ですので、必ずお守りください。

▲危険 その警告文に従わなかった場合、死亡または重傷を負うことになるものを示します。

▲警告 その警告文に従わなかった場合、死亡または重傷を負う危険性があるものを示します。

▲注意 その警告文に従わなかった場合、ケガを負うおそれのあるものを示します。

- この取扱説明書には安全に作業していただくために、安全上のポイント「安全に作業をするために」を記載してあります。ご使用前に必ずお読みください。

もくじ

もくじ	2
安全に作業をするために	3
サービスと保証について	4
仕 様	5
本製品の使用目的について	5
各部のなまえ	6~7
安全銘板の貼り付け位置	8
各部のはたらき	9
お使いになる前に	10~16
1. 梱包部品の確認	10~11
2. ホース部の組み立て	12
3. スタンドの組み立て	12
4. 入口側の組み立て	13
5. ジョーゴの組み立て	14~15
6. 乾燥機のホッパーにパネ部出口の取り付け	16
7. 電源コード	16
作業のしかた	17~19
1. 運転前の操作	17
2. オートホッパーの作動確認	18
3. 連続運転	19
作業後の手入れについて	20
1. 残った粉の取り出し	20
2. 長期間使用しない場合の手入れ	20
定期の点検	21
不調診断	22

▲ 注意 空運転によるホースの揺れ注意

移送ホース内に粉が無い状態でスイッチを入れると空運転状態になり
ホースの振動及びホースの揺れ等が起き思わぬケガや機械の破損
を生じるおそれがあります。

初期始動(粉が無い状態)の際は排出ボタン(緑色)を数回押し
ホース内に粉を通しON・OFFスイッチを入れてください。

安全に作業をするために

ここに記載されている注意事項を守らないと、死亡を含む傷害や事故、機械の破損が生じるおそれがあります。

●一般的な注意項目

▲警告 こんなときは、運転しない！

- 過労、病気、薬物の影響、その他の理由により、作業に集中できない。
- 酒を飲んだとき。
- 妊娠しているとき。
- 18才未満の人。

【守らないと】
思わぬ事故の原因になります。



▲警告 点検・整備時には必ず電源を「OFF」にし、差込みプラグを抜く

点検・整備は、必ず電源を「OFF」にし、差込みプラグを抜いてから行ってください。

【行わないと】
回転部に手や服が巻き込まれ、思わぬ事故をおこします。



▲注意 必ず作業前の点検をする

本機を使用する前に必ず作業前の点検を行い、異常箇所は直ちに整備してから作業してください。

また、作業終了時も点検を行って異常がないかチェックしてください。



▲注意 カバー類は必ず取り付ける

運転中は入口パネ部、出口パネ部には、手や足を近づけないでください。

【注意しないと】
回転中のパネに巻き込まれたりして、傷害事故を起こします。



サービスと保証について

保証について

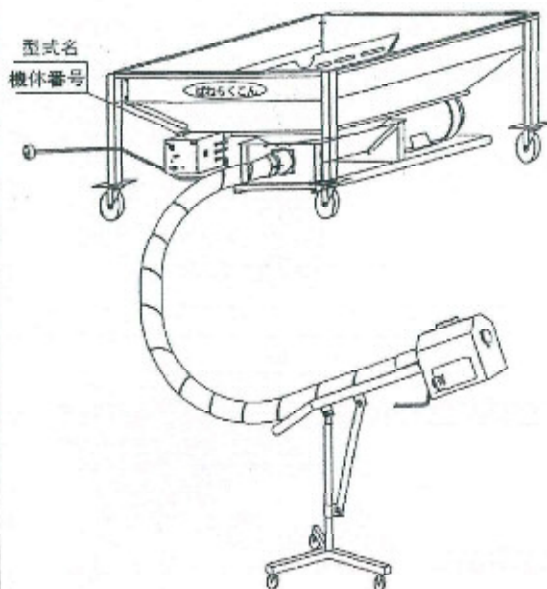
「保証書」はお客様が保証を受けられる際に必要となるものです。お読みになった後は大切に保管してください。

アフターサービスについて

機械の調子が悪いときに22ページの「不調診断」に従って点検、処置しても、なお不具合があるときは、下記の点を明確にしてお買い上げいただいた販売店・農協・お近くの当社営業所までご連絡ください。

〈連絡していただきたい内容〉

- 型式名と製造番号
- ご使用状況は？
- どのくらい使用されましたか？
(約□□時間使用后)
- 不具合が発生したときの状況をできるだけ詳しくお教えてください。



補修部品の供給年限について

この製品の補修部品の供給年限（期間）は、製造打ち切り後8年です。ただし、供給年限内であっても、特殊部品については納期などをご相談させていただく場合もあります。補修用部品の供給は、原則的には上記の供給年限で終了しますが、供給年限経過後であっても、部品供給のご要請があった場合には、納期および価格についてご相談させていただきます。

仕様

品名	大型ばねらくこん（粉受ホッパー900巾）		
型式名	RCM10E-3(900)	RCM10EH-5(900)	RCM10EH-8(900)
重量(kg)	52	60	70
ホース寸法(m)	3	5	8
能力(kg/h)	8,000~10,000		
モーター	三相 200V1.5kw		
安全装置	オートカット(7.5A)・圧カスイッチ(入口・出口) ホーススタンド・遅延タイマー		

品名	大型ばねらくこん（粉受ホッパー1500巾）		
型式名	RCM10E-3(1500)	RCM10EH-5(1500)	RCM10EH-8(1500)
重量(kg)	55	64	74
ホース寸法(m)	3	5	8
能力(kg/h)	8,000~10,000		
モーター	三相 200V1.5kw		
安全装置	オートカット(7.5A)・圧カスイッチ(入口・出口) ホーススタンド・遅延タイマー		

品名	大型ばねらくこん（粉受ホッパー2000巾）		
型式名	RCM10E-3(2000)	RCM10EH-5(2000)	RCM10EH-8(2000)
重量(kg)	58	70	80
ホース寸法(m)	3	5	8
能力(kg/h)	8,000~10,000		
モーター	三相 200V1.5kw		
安全装置	オートカット(7.5A)・圧カスイッチ(入口・出口) ホーススタンド・遅延タイマー		

本製品の使用目的について

本製品は、乾燥機への生粉（生麦）供給用としてご使用ください。本製品を粉すり機と接続する場合搬送量の差が大きく、モーターの「入り」「切り」が頻繁になる為、モーターやその他の部品に負担が多くかかり故障の原因となります。

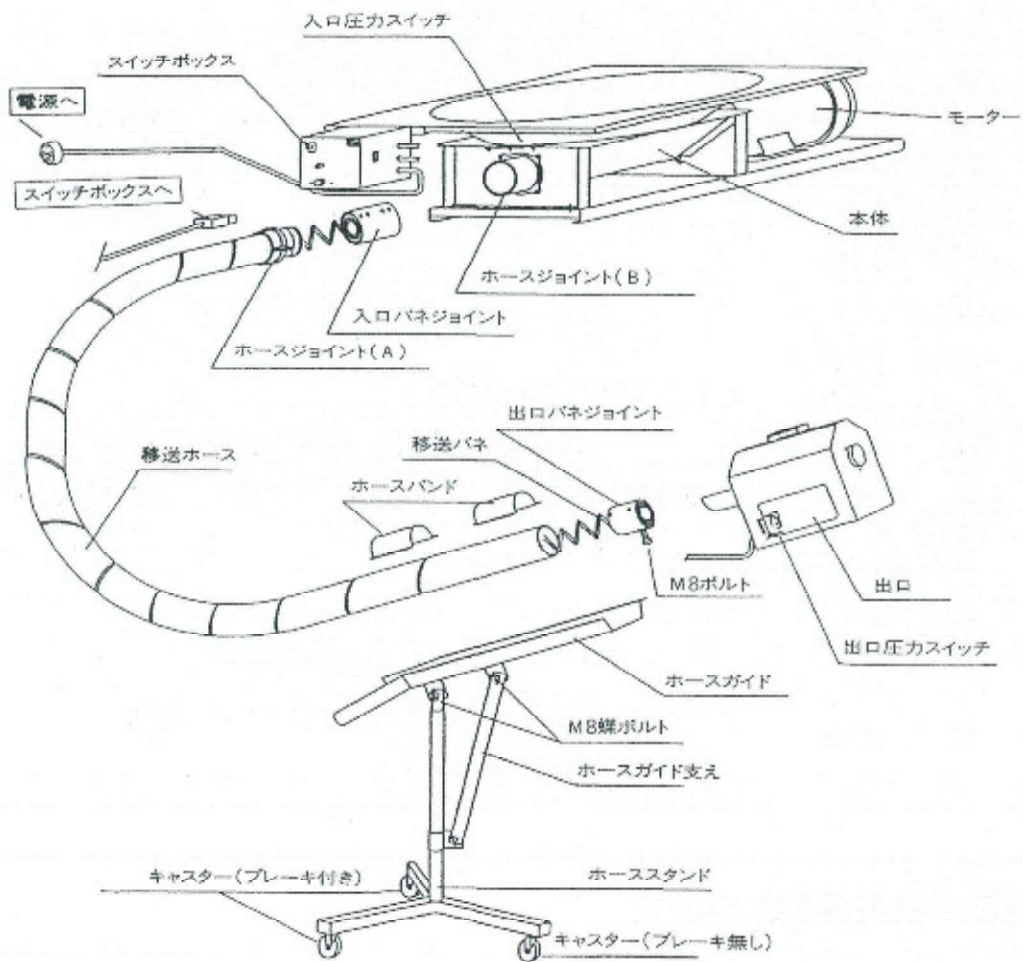
使用目的以外の作業や改造などは、決してしないでください。

使用目的以外の作業や改造をした場合は、保証の対象になりませんのでご注意ください。

（詳細は、保証書をご覧ください）

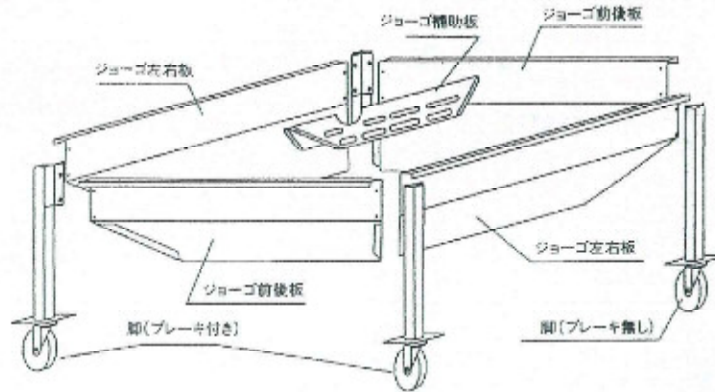
各部のなまえ

本体部

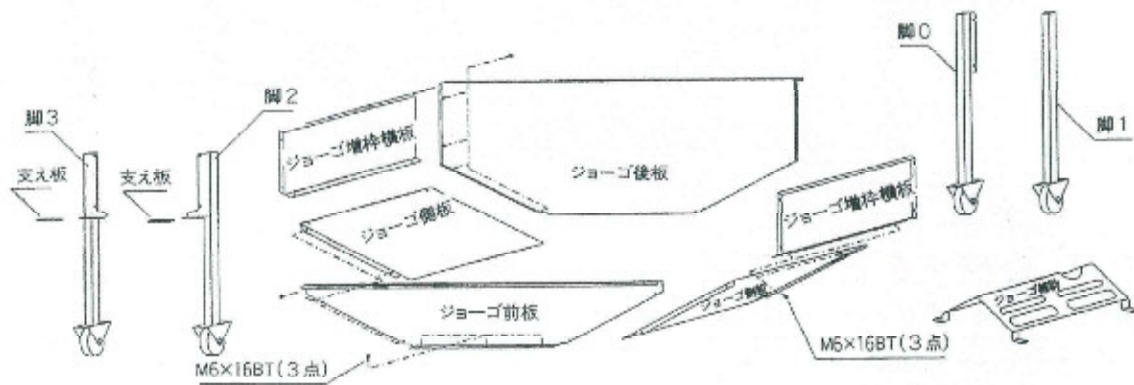


各部のなまえ

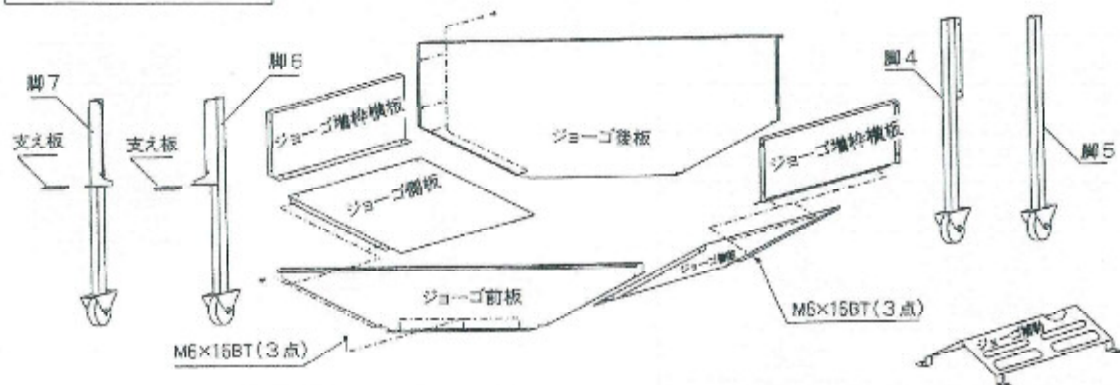
ジョーゴ 900mm 用



ジョーゴ 1500mm 用



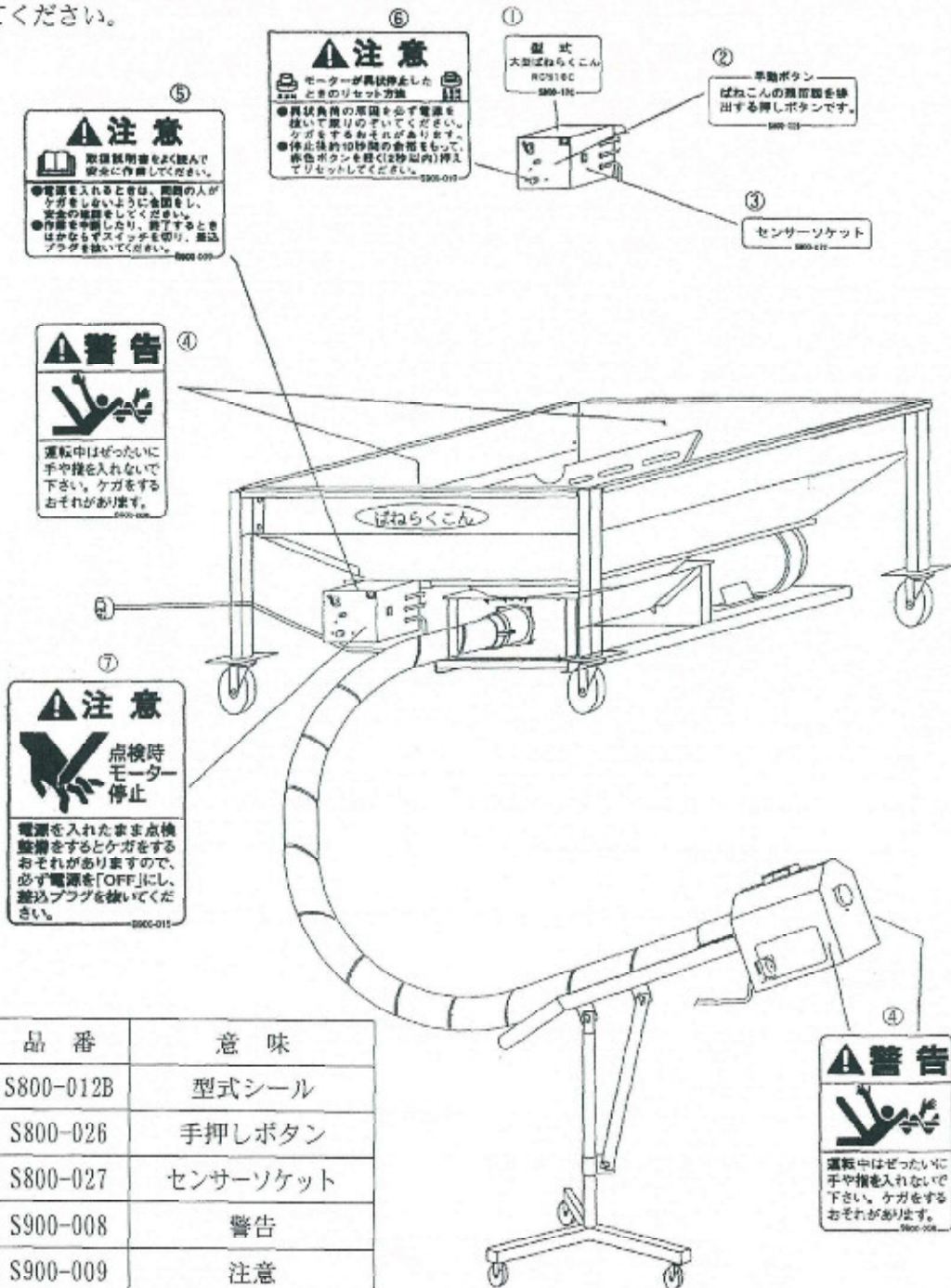
ジョーゴ 2000mm 用



安全銘板の貼り付け位置

安全に作業していただくために安全銘板の位置を示したものです。

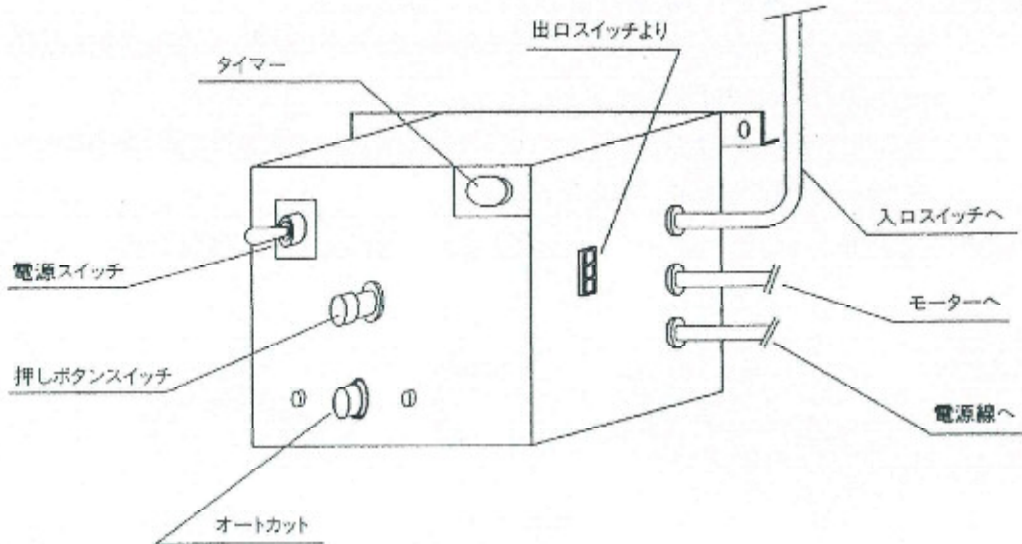
安全銘板は常に汚れや破損の無いように保ち、もし破損・紛失した場合は、新しいものに貼り直してください。



No.	品番	意味
1	S800-012B	型式シール
2	S800-026	手押しボタン
3	S800-027	センサーソケット
4	S900-008	警告
5	S900-009	注意
6	S900-012	注意
7	S900-015	注意

各部のはたらき

スイッチボックス



1. 電源スイッチ



電源スイッチのレバーを切り換えてモーターの起動 (ON) 停止 (OFF) を操作します。

※ジョーゴ内に粉が入っていない場合は安全の為、モーターは起動しません。

2. 押しボタンスイッチ

モーターの回転方向の確認をする時や残留粉の排出をする時、ボタンを押している間だけ強制的にモーターが回転します。

3. オートカット

バネ部に異物等が入り、過負荷によりモーターが異常停止した時のモーター焼損防止機構です。動作した時はボタンが突出しますので異物を取り除いた後、ボタンを押し込んでください。

4. タイマー

出口圧カスイッチが作動した時にタイマーの働きで、出口の粉が無くなってもすぐにモーターが回転しないようになっており、タイマーは任意に 0~30 秒の範囲で調節できます。(工場出荷時は 3 秒に設定済み)

お使いになる前に

1. 梱包部品の確認

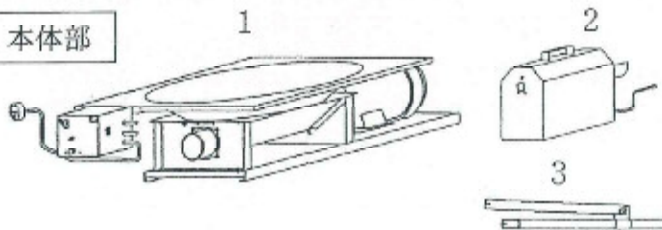
▲注意 各部品の組み立ては水平な場所で行ってください。

ねじ類は、サイズに適した工具で確実に締め付けてください。特に回転部の組み付けは確実にお願いします。

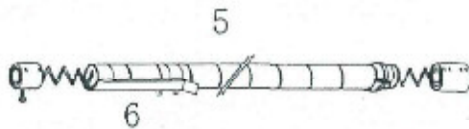
組み付け不十分により部品やねじが作業中に脱落し、粉の中に混入するなどして他の作業機の破損につながります。

1. 梱包は本体部箱・パネ部・ジョーゴ部の3梱包です。梱包を解いて部品を確認してください。

本体部

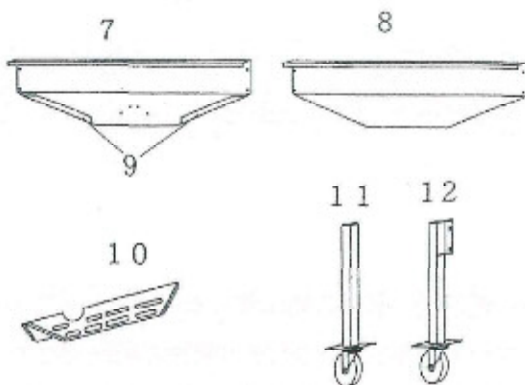


パネ部



1	本体	1個
2	出口 (完)	1個
3	スタンド支え一式	1個
4	ホース脚一式	1個
5	移送ホース一式	1個
6	ホースガイド一式	1個

ジョーゴ部



900mm用ジョーゴ

7	ジョーゴ前後板	2個
8	ジョーゴ左右板	2個
9	補強板	4個
10	ジョーゴ補助板	1個
11	ジョーゴ脚 (ブレーキ付き)	2個
12	ジョーゴ脚 (ブレーキ無し)	2個

お使いになる前に

1500mm用ジョーゴ

13	ジョーゴ前板	1個
14	ジョーゴ後板	1個
15	ジョーゴ増枠横板	2個
16	ジョーゴ側板	2個
17	脚0 (ブレーキ無し)	1個
18	脚1 (ブレーキ無し)	1個
19	脚2 (ブレーキ付き)	1個
20	脚3 (ブレーキ付き)	1個
21	支え板	2個
22	ジョーゴ補助	1個
23	ネジ一式	1個

2000mm用ジョーゴ

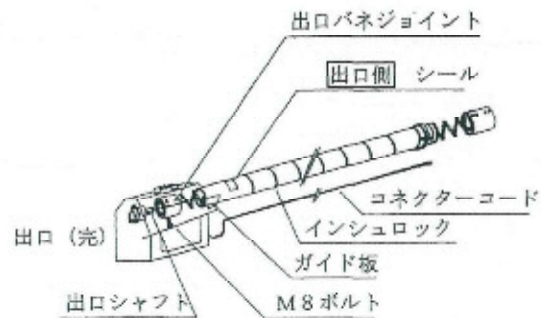
24	ジョーゴ前板	1個
25	ジョーゴ後板	1個
26	ジョーゴ増枠横板	2個
27	ジョーゴ側板	2個
28	脚4 (ブレーキ無し)	1個
29	脚5 (ブレーキ無し)	1個
30	脚6 (ブレーキ付き)	1個
31	脚7 (ブレーキ付き)	1個
32	支え板	2個
33	ジョーゴ補助	1個
34	ネジ一式	1個

お使いになる前に

2. ホース部の組み立て

出口側の組み立て

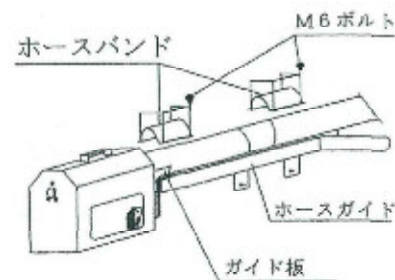
- ① 出口パネジョイントのM8 ボルトを取り外してください。
- ② ホースバンドを押さえているM6 ボルトを緩め、出口 (完) のガイド板をホースガイドとホースの隙間に差し込みM6 ボルトで固定してください。



- ※ホース端面が出口 (完) の内側面に揃うようにしてください。
- ※出口 (完) の内部にホースが入り過ぎないように注意してください。

- ※ホースの下側に木片等を敷き水平にすれば作業がしやすくなります。

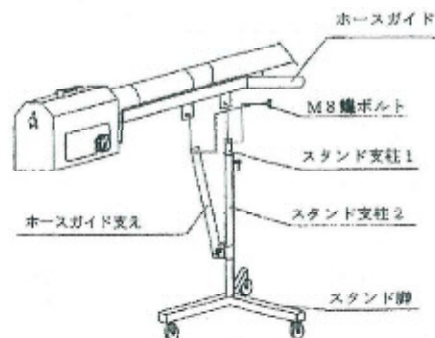
- ③ 出口 (完) に取り付けてある出口シャフトのカット面とM8 ボルト位置を合わせて、出口パネジョイントを差し込みM8 ボルトで締めて固定してください。
- ④ コネクターコードをインシュロックで固定してください。



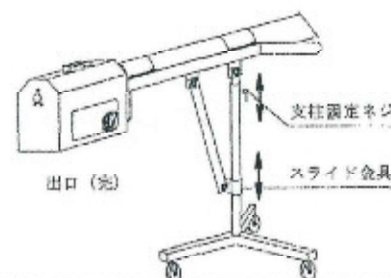
- 8 mは5箇所
- 5 mは4箇所
- 3 mは3箇所

3. スタンドの組み立て

- ① スタンド脚にスタンド支柱2を差し込みM8 ボルト・ナットで固定してください。
- ② ホースガイドにスタンド支柱1とホースガイド支えをM8 蝶ボルトで固定してください。



- ※出口の高さは乾燥機の投入口に合わせてスライド金具とスタンド支柱1の位置で調節してください。
- ※自動停止装置が頻繁に作動するときは出口の高さを高くしてください。
- ※乾燥機の上部より粉を投入するときはホースがなだらかな勾配になるようにしてください。(16 ページを参考にしてください。)



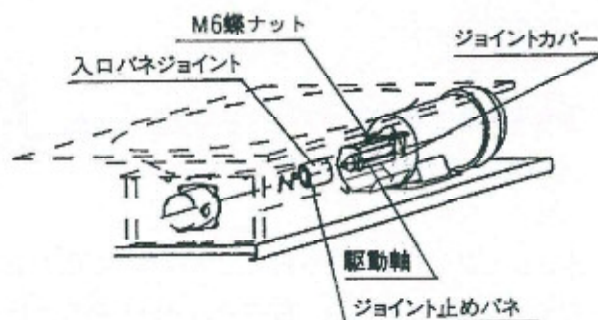
お使いになる前に

4. 入口側の組み立て

①ジョイントカバーに取り付けてあるM6蝶ナットを緩めてジョイントカバーの蓋を開いてください。

②入口パネジョイントを駆動軸に差し込んでください。

※入口パネジョイントまたは駆動軸を手で軽く回すと、駆動軸に入り易くなります。



- 入口パネジョイントの取り付け取り外しの時はM6蝶ナットを緩めてジョイントカバーの蓋を開いてください。
- 入口パネジョイントを取り外す時は入口パネジョイントのジョイント止めバネを少し手で開くようにするとパネジョイントが外れ易くなります。

③ホースジョイント (B) の固定ボルトを緩めてください。

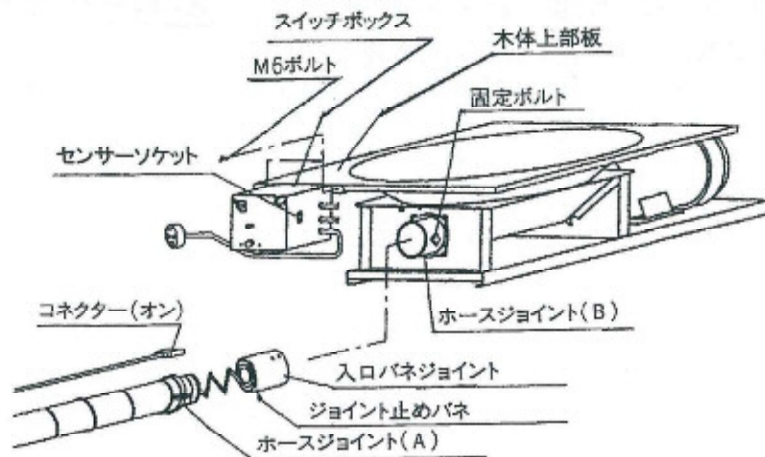
④ホースジョイント (A) をホースジョイント (B) に差し込み固定ボルトを締め、抜け止めをしてください。

⑤ジョイントカバーの蓋を閉じM6蝶ナットを締めて固定してください。

⑥スイッチボックスを本体前側にM6ボルト2本で固定してください。

⑦コネクター (オン) をスイッチボックスのセンサーソケットに差し込んでください。

※ソケットの形状を確認して無理に押し込まないでください。



お使いになる前に

5. ジョーゴの組み立て

900mm 用

① 本体上部に取り付けているM6ボルト12本を緩めて取り外してください。

② ジョーゴ左右板に取り付けているM6ボルト各8本を取り外してください。

③ ジョーゴ前後板に取り付けているM6ボルト各4本を取り外してください。

④ ジョーゴ前後板を本体から取り外したM6ボルト各3本で本体の上に仮止めしてください。

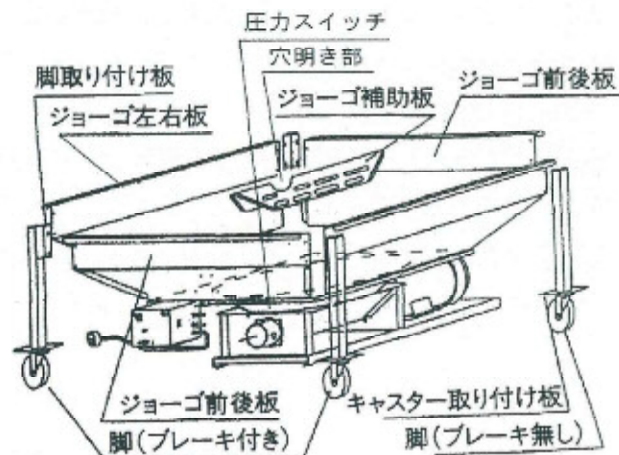
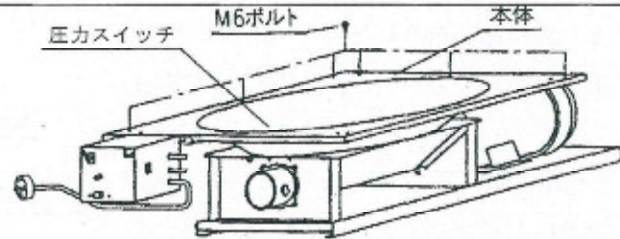
⑤ ジョーゴ左右板を本体から取り外したM6ボルト各3本で本体の上に仮止めしてください。

⑥ ジョーゴ前後板に取り付けている補強板とジョーゴ左右板とをM6ボルト片側2本で仮止めしてください。

⑦ ジョーゴ補助板の穴明き部が入口圧カスイッチと同じ所に来るようにジョーゴ前後板にM6ボルト各4本で仮止めしてください。

⑧ 本体・ジョーゴ前後板・ジョーゴ左右板・ジョーゴ補助板を隙間が出来ないようにして、仮止めした各M6ボルトを締め付けてください。

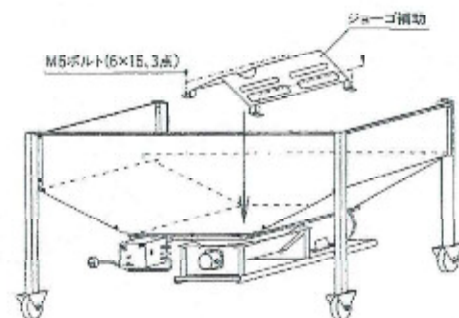
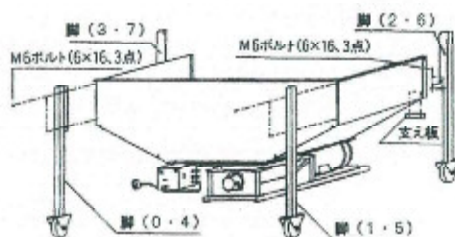
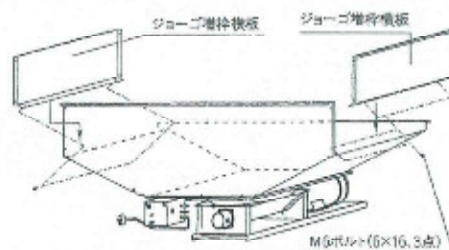
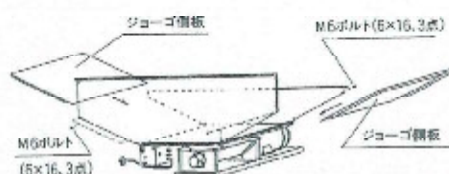
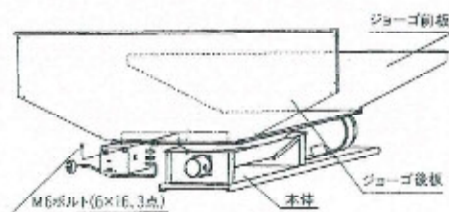
⑨ 脚（ブレーキ付き）をホース側に、脚（ブレーキ無し）をモーター側に、ジョーゴ前後板の上側の穴と脚取付板の上側の穴を最初にM6ボルトを通して仮止めし、次に脚を内側に押し込むようにして残りの穴にM6ボルトを通してから全部のボルトを完全に締め付けてください。



お使いになる前に

1500mm・2000mm 用共通

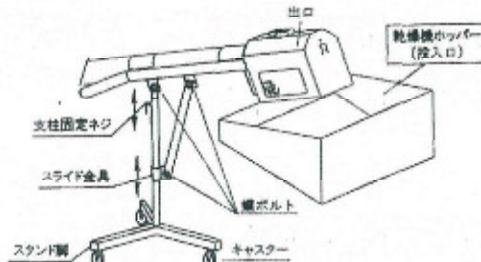
- ① 本体上部に取り付けているM6 ボルト 12本を緩めて取り外してください。
- ② ジョーゴ前板・ジョーゴ後板を本体から取り外したM6 ボルト各3本で本体の上に仮止めしてください。
- ③ ジョーゴ側板をジョーゴ前板・後板の穴位置に合わせてM6 ボルト各4本で仮止めしてください。
- ④ ジョーゴ側板の上にジョーゴ増枠横板をジョーゴ側板の穴位置に合わせてM6 ボルト各2本で仮止めしてください。
- ⑤ 脚0・1 (1500mm)、脚4・5 (2000mm) をジョーゴ後板・ジョーゴ増枠横板の穴位置に合わせてM6 ボルト各4本で仮止めしてください。
- ⑥ 脚2・3 (1500mm)、脚6・7 (2000mm) をジョーゴ増枠横板の穴位置に合わせてM6 ボルト各2本で仮止めしてください。
- ⑦ 支え板をジョーゴ前板の下側から当てて脚2・3 (1500mm)、脚6・7 (2000mm) の上側からM6 ボルト各2本で仮止めしてください。
- ⑧ ジョーゴ補助の穴明き部が入口圧カスイッチと同じ所に来るように向きを決め、本体にM6 ボルト4個で仮止めしてください。
- ⑨ 以上で仮止めした本体・ジョーゴ前板・ジョーゴ後板・ジョーゴ側板・ジョーゴ増枠横板・各脚・ジョーゴ補助の各M6 ボルトを隙間が出来ないように注意して完全に締め付けてください。



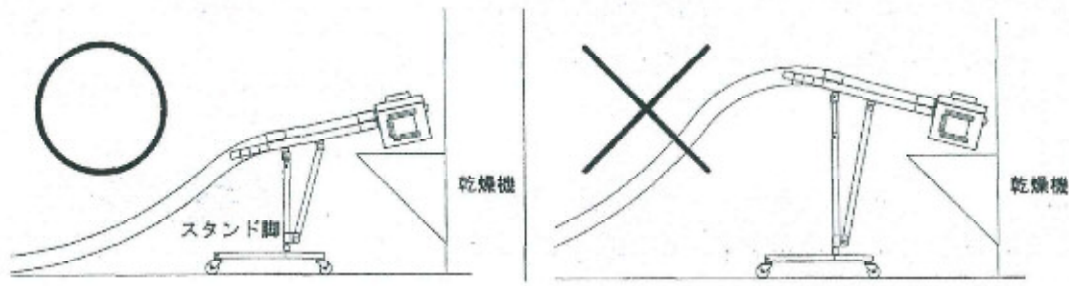
お使いになる前に

6. 乾燥機のホッパーにバネ部出口の取り付け

乾燥機ホッパーにバネ部出口全体が入り込むような位置にスタンド脚を調節してください。バネ部出口の高さ調節はスタンド脚の支柱固定ネジや蝶ボルトを緩めて行ってください。出口の位置・高さが決まったら、必ずスタンド脚のキャスターにブレーキを掛けてください。

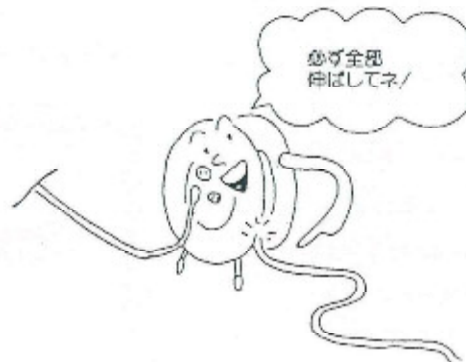


※通常バネ部出口を上げた状態または水平でご使用ください。もし、出口が下向きになるとバネやホースの耐久時間が短くなったり、出口圧カスイッチが効かなくなる恐れがあります。



7. 電源コード

▲注意 電源コードは、延長コードを使用せずに、直接コンセントに接続してください。やむをえず、延長コードを使用する場合は、導線径2mm以上の太いコードを使用し、出来るだけ短くして使用してください。もし、長いコードを使用すると、電圧低下をきたし、モーターの過負荷や誤動作の原因となります。コードリール等を使用する場合は、コードを巻いたままにしないで全部伸ばして使用してください。



作業のしかた

1. 運転前の操作

本製品は三相200V仕様です。

移送パネの回転方向は出口側から見て右回転です。

▲ **危険** 配線を入れ換える場合は必ず電源を切り、コンセントから電源コードを抜いて行ってください。もし、電源を切らないと感電する恐れがあります。

▲ **警告** 運転中、移送パネは高速回転しているので、絶対に手や指を入れしないでください。もし、移送パネに触れるとケガをする恐れがあります。

▲ **警告** 電源を入れるときには、周囲の人がケガをしないように合図をし、安全の確認をしてください。作業を中断したり終了するときは、必ず電源スイッチを切りコンセントから電源コードを抜いてください。

▲ **注意** 停電時にはすぐに電源スイッチを切りコンセントから電源コードを抜いてください。電気が回復したとき、急にモーターが回りだしてケガをする恐れがあります。

- ①スイッチボックスの電源コードを電源コンセントに差し込んでください。
 - ②モータースイッチを「ON」側にしてください。
 - ③押しボタンスイッチを押して移送パネの回転方向（出口側から見て右回転）を確認してください。
- ※押しボタンスイッチは空運転（粉が入っていない状態）で長時間押さないでください。移送パネや移送ホースを痛める恐れがあります。
- ※もし、移送パネが逆回転している場合は電源コードの先のプラグの結線の赤線と黒線を入れ換えてください。
- ④移送パネの回転方向が正しければモータースイッチを「OFF」にし電源コードを電源コンセントから抜いておいてください。



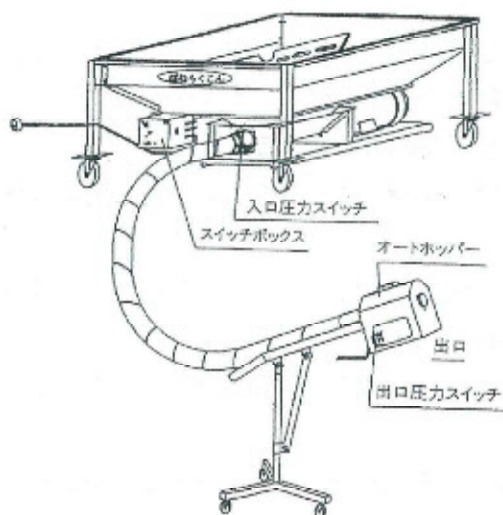
作業のしかた

2. オートホッパーの作動確認

▲ 注意 乾燥機の昇降能力が 5,000kg/H 以下の場合にはタイマー設定を出来るだけ長くしてください。本製品の自動停止が頻繁に作動し、故障の原因となります。
生粉・生麦で使用する場合は、水分が 30%以上や濡れた状態では使用しないでください。搬送不良となり、モーター損傷や移送バネの破損の原因となります。

- ①スイッチボックスの電源コードを電源コンセントに差し込んでください。
- ②モータースイッチを「ON」側にしてください。
- ③入口ジョーゴ内の入口圧カスイッチを移送バネに触れないように注意しながら棒などで押さえてモーターを回転させてください。
- ④出口内の出口圧カスイッチを移送バネに触れないように注意しながら棒などで押さえてモーターが回転を停止するのを確認してください。

※もし、モーターが回転や停止をしないようであれば、コネクター類の接触不良や圧カスイッチの故障が考えられますので販売店に連絡をお願いします。



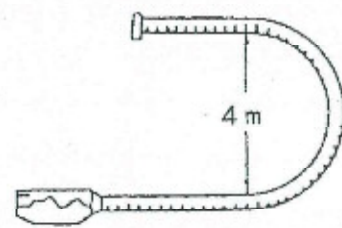
作業のしかた

3. 連続運転

各部の動作に問題がなければ連続運転に入ってください。

- ①最初に乾燥機の昇降機を稼働させてください。
- ②本製品のモータースイッチを「ON」側にしてください。
- ③粉を本製品の入口ジョーゴに入れて入口圧カスイッチが粉に押されると自動的に移送バネが回転し粉の搬送を始めます。乾燥機の入口ジョーゴが粉で満杯になり本製品の出口内の出口圧カスイッチが粉で押されると自動的に移送バネが回転を停止します。
- ④乾燥機の入口ジョーゴの粉が無くなると自動的に移送バネが回転を始めます。また、本製品の入口ジョーゴの粉が無くなると自動的に移送バネが回転を停止します。

- ▲ 注意 (1) 空運転はしないでください。
バネホースの損傷の原因となります。
- (2) ホース（バネ部）を直径4 m以下に曲げて
使用しないでください。
破損の原因となります。



作業後の手入れのしかた

▲ 警告 バネ部の取り外しや移送バネ・モーター等の近くで残った粉を取り出すときはモータースイッチを「OFF」にし電源コードを電源コンセントから抜き、回転部が確実に停止したことを確認してください。もし、回転部が停止しない状態で作業を行うとケガをする恐れがあります。

▲ 注意 バネ部の脱着はスタンドの転倒などにより出口の破損が起こる恐れがありますので、必ず数人で不用意に動かないように注意しながら作業をしてください。

1. 残った粉の取り出ししかた

- ①入口ジョーゴと移送ホース内の粉はモータースイッチを「ON」にして押しボタンスイッチを1~2秒間押すのを数回繰り返して排出してください。
- ②コネクター（オン）をスイッチボックスのセンサーソケットから取り外してください。
※コネクター（オン）を取り外すときはコネクター（オン）を手で持って取り外してください。もし、コードを無理に引っ張ると故障の原因となります。

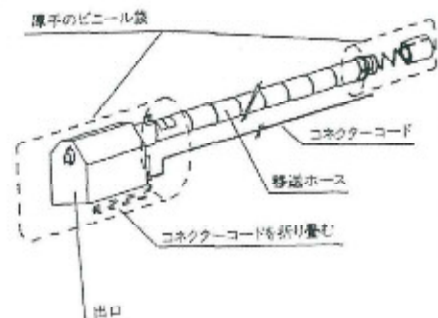
- 入口バネジョイントの取り付け取り外しの時はM6蝶ナットを緩めてジョイントカバーの蓋を開いてください。
- 入口バネジョイントを取り外す時は入口バネジョイントのジョイント止めバネを少し手で開くようにするとバネジョイントが外れ易くなります。

- ③ジョイントカバーに取り付けてあるM6蝶ナットを緩めてジョイントカバーの蓋を開いてください。
- ④ホースジョイント（B）の固定ボルトを緩めて、ホースジョイント（A）をホースジョイント（B）から抜き、入口バネジョイントを駆動軸から抜いてください。
- ⑤移送ホースを入口側を高く持ち上げ移送ホース内の粉を排出してください。
- ⑥本体内および出口内の粉を掻き出してください。

2. 長期間使用しない場合の手入れ

本製品を長期間使用しない場合は次の点に注意して格納してください。

- ①バネ部は本体から取り外し、出来るだけ直線状態で乾燥した場所に保管してください。
- ②ねずみの被害予防の為、コネクターコードを出口内にしまい、厚手のビニール袋等でバネ部の出入口を塞いでください。

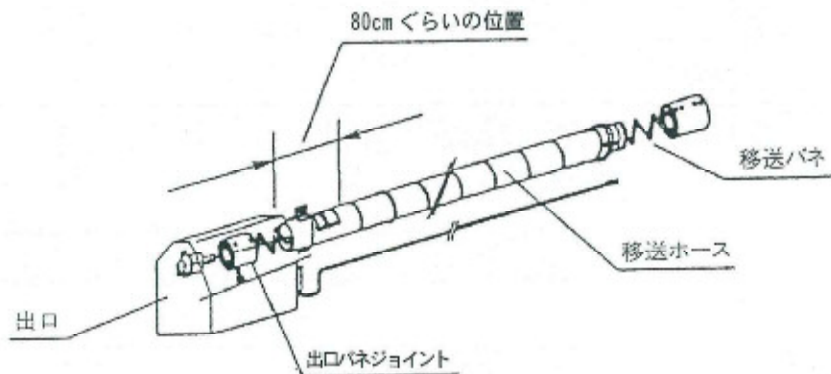


定期の点検

▲ 警告 移送ホースや移送バネの点検を行うときは、誤ってモーターが回転しないように必ず電源コードを電源コンセントから抜いてください。

移送ホースと移送バネの点検を始業前に行ってください。

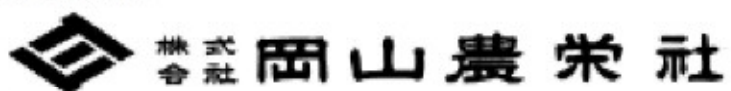
- ①バネ部をスタンドから取り外してください。
- ②バネ部を本体から取り外してください。
- ③出口バネジョイントのM8ボルトを緩めて出口から移送バネを抜き出してください。
- ④移送バネを移送ホースから抜き出し、摩耗が無い点検してください。バネ線径が5mm以下の場合には新しい移送バネと交換してください。
- ⑤移送ホースの出口側から約80cm付近の摩耗が著しい場合は新しい移送ホースと交換してください。
- ⑥移送ホースと移送バネを点検して問題が無ければ元通りに組み立ててください。



不調診断

状況	点検箇所	確認手順		処置
モーターが回転しない	スイッチボックス	スイッチを ON にし、押しボタンスイッチを押す	リレーが作動しない	電源コンセントや電源コードを確認してください
				リレーを交換してください
			リレーが作動する	「モーターが正逆どちらにも回る」の下記内容で確認してください
	モーター	モーター表面の変色	変色している	モーターの交換をしてください
モーターが正逆どちらにも回る モーターの「力」が無い	電源コード モーター結線	端子ネジの緩み	端子ネジが緩んでいる	端子ネジを締め付けてください
		テスター等で導通を確認	導通が無い	断線を修理してください
	スイッチボックス内配線	ハンダ付け	ハンダ付けの外れ	ハンダ付けを直してください
オートカットが作動する	移送ホース	大きな音と振動がある	空運転していませんか	「正常」です 空運転を続けるとパネ部の破損が起きます
		移送ホースの曲げ	曲げ半径が2m未満ではありませんか	曲げ半径は2m以上にしてください
		内部の異物	異物が詰まっていますか	異物を取り除いてください
	出口	移送ホースの取り付け	出口の中に移送ホースが入って出口を塞いでいませんか	出口を塞がない位置にホースを付け直してください
	粉や麦	水分	水分が高くありませんか	水分は30%以下で使用してください
		濡れ	濡れていませんか	乾いてから使用してください
	電源	テスター等で電圧を確認	電圧が低下していませんか	160V以上で使用してください

製造販売元



ホームページ <http://noeisha.co.jp>

本社	〒703-8204 岡山市中区雄町394-3	TEL (086) 279-6100
本社営業所	〒703-8204 岡山市中区雄町394-3	TEL (086) 279-6100
北海道営業所	〒078-8275 旭川市工業団地5条3-3-1	TEL (0166) 36-5115
東北営業所	〒983-0043 仙台市宮城野区萩野町4-2-44	TEL (022) 232-5609
関東営業所	〒372-0023 群馬県伊勢崎市柏川町1616	TEL (0270) 21-8127
九州営業所	〒862-0911 熊本市東区健軍3-45-13	TEL (096) 368-7407

お客様メモ

購入日	年	月	日
購入店名			